

駐車場等での交通事故防止

駐車場では、交通事故が多く発生しています。スピードが出ていない軽微な物損事故が多いですが、中には**歩行者が死亡する重大な事故も発生する**など、注意が必要です。



ポイント① 車両や歩行者などの不規則な動きに備えましょう

駐車場では、

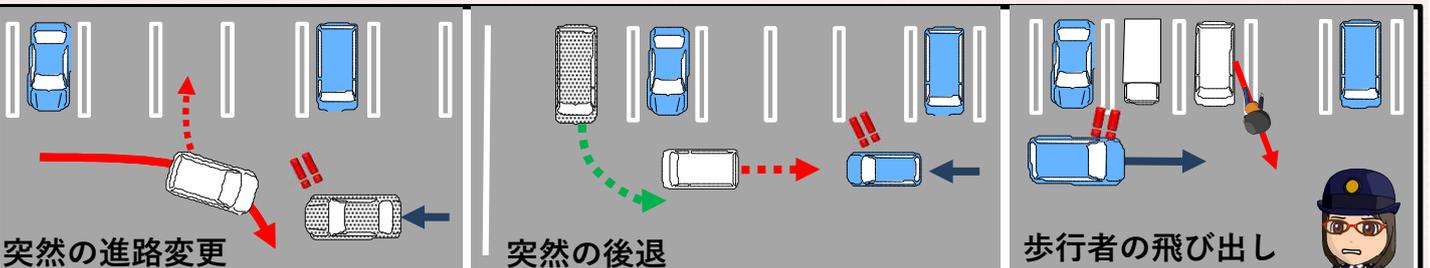
- 駐車や降車のための急停止や突然の後退、進路変更
 - 駐車車両の隙間や死角から歩行者や自転車が出てくるなど、道路上と比べると車も歩行者も不規則な動きをします。
- そのため、



「他の車・人の動静」、「死角からの歩行者の飛び出し」

等に注意しましょう。

注意すべき車・人等の動きの一例



このような動きをすると交通事故に遭う可能性があります

ポイント② 落ち着いて運転に集中しましょう

駐車場混雑時に駐車スペースを探すことなどに意識を集中すると、周囲への注意がおろそかになります。急いでいるときは、焦りも加わりますので、特に注意が必要です。

そのため、

「落ち着いて、運転に集中」

しましょう。

また、アクセル・ブレーキの踏み間違いも駐車場内で多く発生しています。

動き出し前には、周囲の安全確認を行った上で、足の位置(アクセル・ブレーキ)、シフトレバーの位置(ドライブ・バック等)を確認しましょう。



ポイント③ 後退(バック)時の安全確認を徹底しましょう

安全確認が不十分なまま後退し、後方の車や歩行者(自転車)、また、店舗やフェンス等の物件に衝突してしまう事故が多く発生しています。

後退する際は、

「後方の安全確認の徹底」、「バックモニターだけでなく目視確認」を行いましょう。

また、車の死角を意識し、死角に隠れた歩行者や背の低い物件(縁石等)にも注意を払いましょう。

運転席から見た周囲の状況



車の周囲には、何も無いように見えますが・・・

写真のとおり、車の死角は広く「背丈の低い子ども」、「物件(縁石等)」を見落とす可能性があります。

死角を意識し、

- 発進前の車の周囲の確認
- ドア開放時の衝突防止のための同乗者への注意喚起を行いましょう。



ポイント④ 同乗者(特に子ども)への注意喚起

駐車場では、車の陰からの飛び出しによる事故やドア開放時の隣の車や歩行者との接触等も多く発生しています。

そのため、

○ 子どもを降車させるときは、運転者(同乗の保護者等)がドアを開ける(不用意なドア開放を防ぐためチャイルドロックを活用する)

○ 駐車場内を歩くときは、子どもの手を離さない

○ 周囲の安全を確認してから降車するように同乗者に注意喚起する

など交通事故防止に配慮しましよう。

また、車を発進させる前に同乗者のシートベルトやチャイルドシートの着用状況を確認しましよう。

